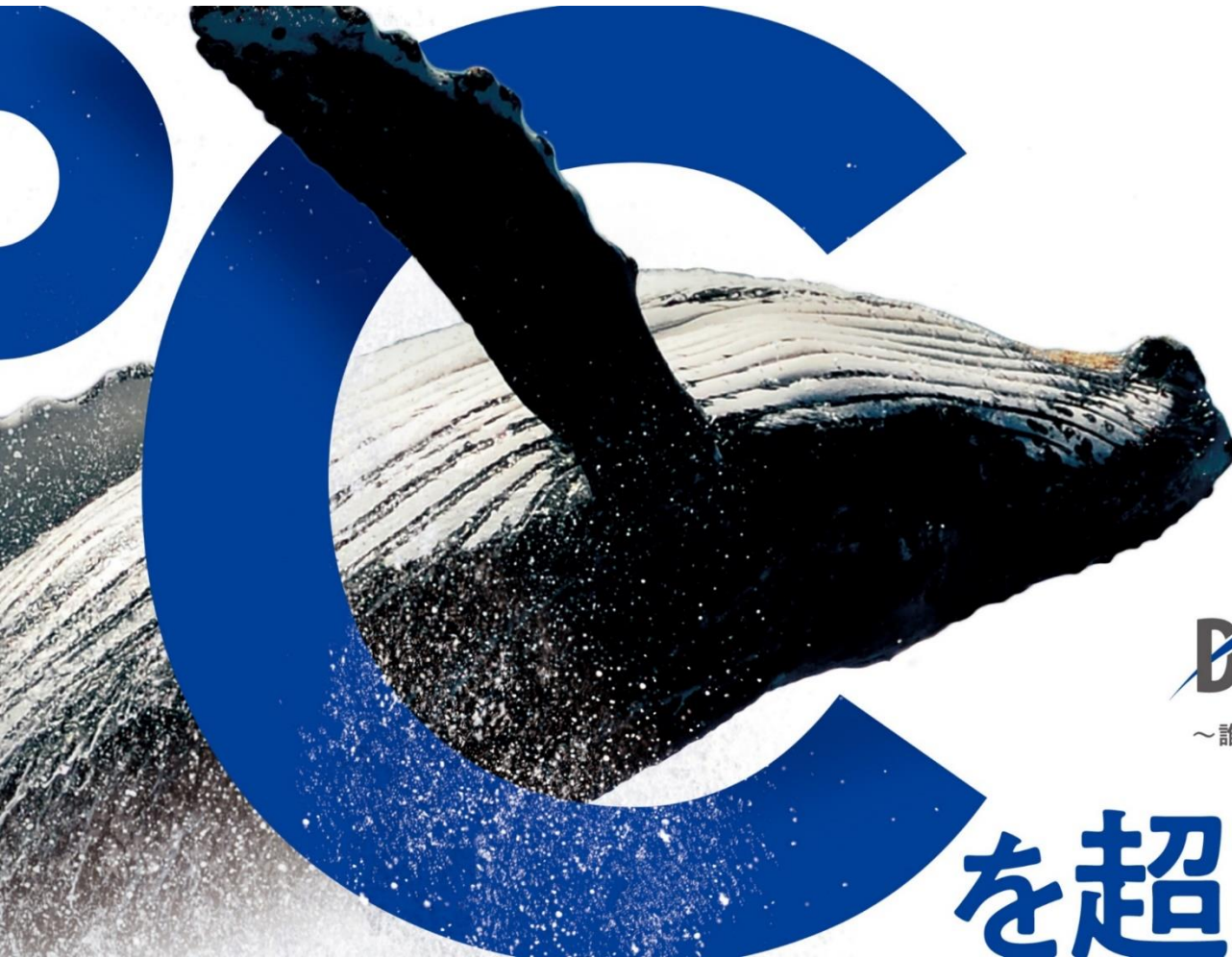


2024年3月期 決算説明資料

フクシマガリレイ株式会社



Dramatic Future 2050

～誰もがワクワクする未来を拓く、ガリレイグループ～

を超えた挑戦。

GALILEI

Be cool, Be alive.

A young child with light brown hair, wearing a blue and white striped shirt with a colorful patterned vest, sits in a metal shopping cart. The child is looking towards the left, where shelves of fresh produce are visible. The shelves are stocked with various items, including green bell peppers, orange carrots, and other vegetables. The background shows more shelves and the interior of a supermarket.

いつでもどこでも 食の安全・安心を

私たちは「食」に関わるビジネスに携わるものとして、安全・安心な食の提供を何よりも優先し、すべての人の豊かな食生活の実現に貢献していく。これまで培ってきた「安全・安心技術」を、日本はもとより世界へ広くお届けしていく。「食」を通じて社会を明るく元気にすることが私たちの使命である。（食の安全・安心）

フクシマガリレイ株式会社

FUKUSHIMA GALILEI CO.LTD.

設立:1951（昭和26）年12月8日

本社:大阪府大阪市西淀川区竹島2-6-18

代表者：代表取締役 社長執行役員 福島 豪

資本金:27億6千万円

従業員:2,524名（2024年3月末現在）準社員込

連結売上高：1158億35百万円(2024年3月期)

連結経常利益：161億64百万円(2024年3月期)

上場：東証プライム市場

フクシマガリレイのネットワーク

■ 主要拠点

■ 支店・営業所・サービスステーション

■ サービスセンター(SC)

■ 工場



全国
76拠点

フクシマガリレイのネットワーク

11か国
13拠点



事業の概要



**冷凍冷蔵
ショーケース販売**



冷凍冷蔵庫販売



**医療・理化学
製品販売**

環境・安全・安心をテーマに
「幸せ創造企業」を目指します



**大型食品
加工機械販売**



**大型パネル
冷蔵設備販売**



**小型パネル
冷蔵設備販売**

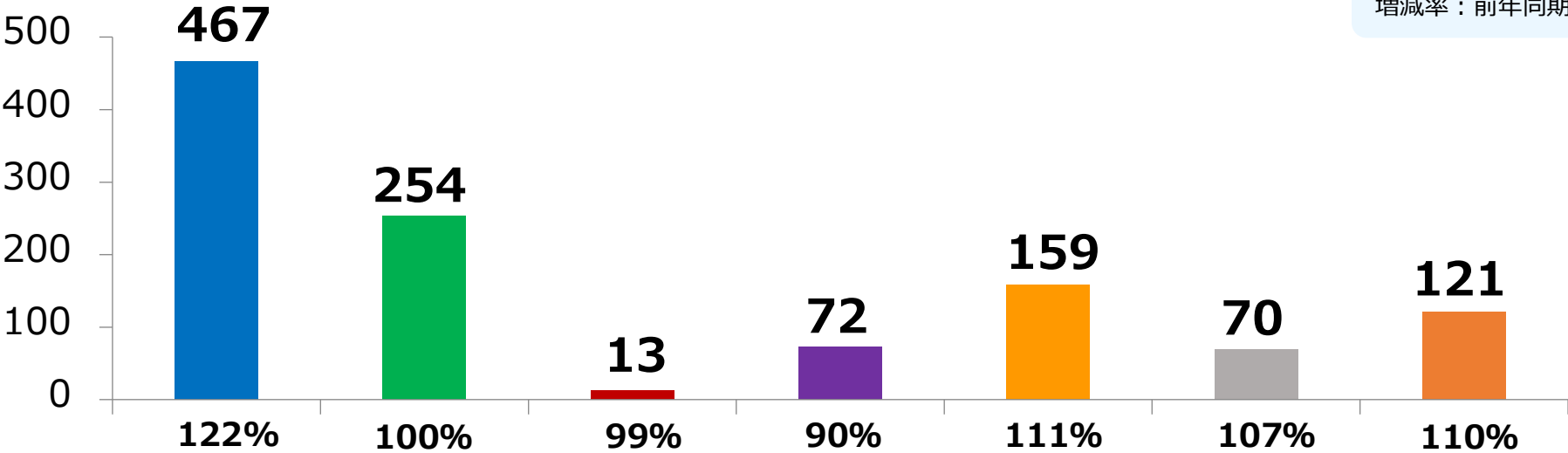


サービス販売

事業の概要

単位：億円

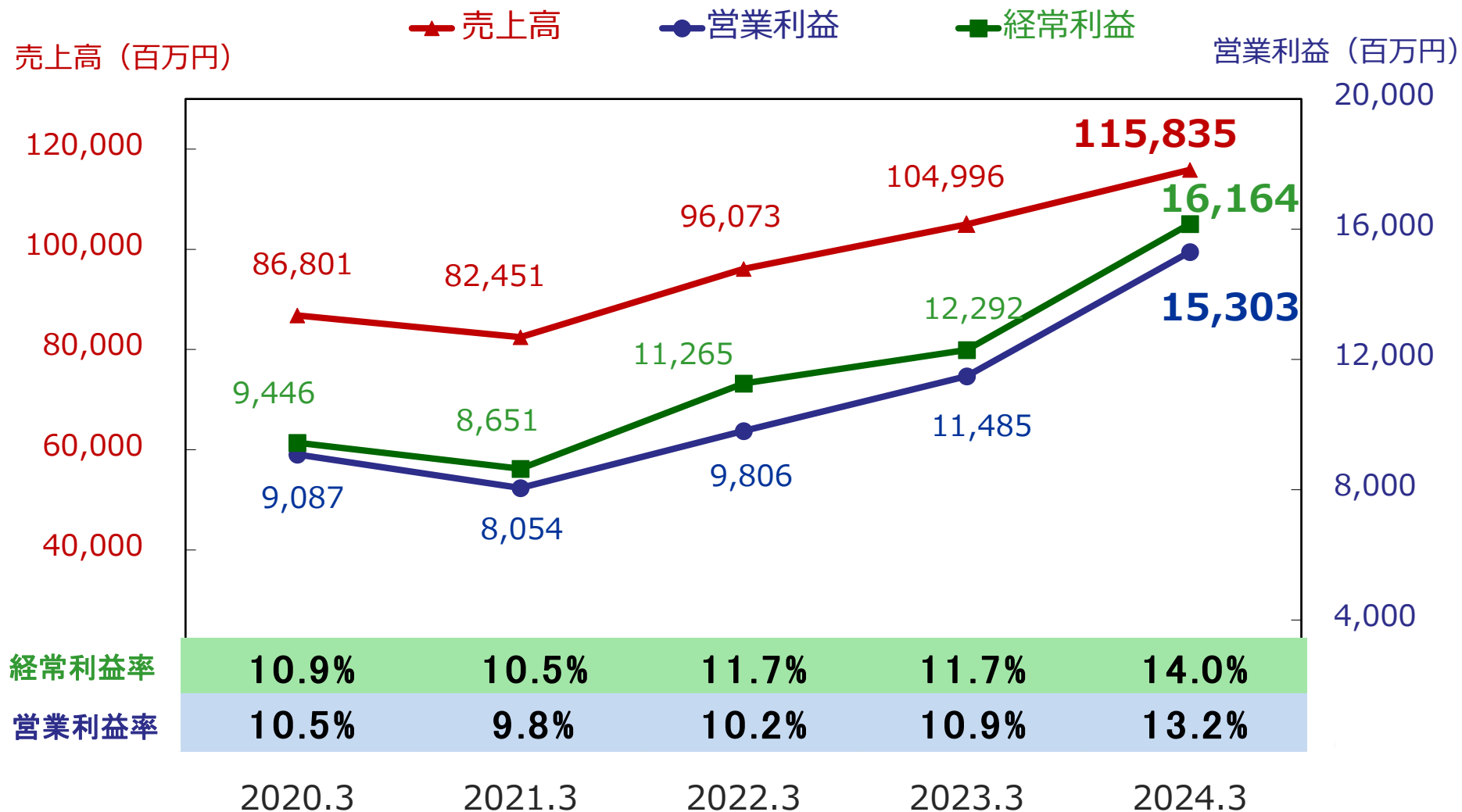
売上高：2024.3実績
増減率：前年同期比



冷凍冷蔵 ショーケース 販売	冷凍冷蔵庫 販売	医療・理化学製品販売	大型食品 加工機械 販売	大型パネル 冷蔵設備 販売	小型パネル 冷蔵設備 販売	サービス 販売
・オープン ショーケース ・リーチイン ショーケース ・RO水機器 ・ショーケース 設備工事	・汎用業務用 冷凍冷蔵庫 ・製氷機 ・冷凍冷蔵 ロッカー ・ブラストチラー ・厨房設備工事	・薬用保冷库 ・低温イン キュベーター ・メディカル フリーザー ・超低温フリー ザー	・トンネル フリーザー ・食品工場の 自動化設備	・大型パネル 設備工事 ・大型プレハブ パネル	・小型パネル 設備工事 ・小型プレハブ パネル	・冷凍冷蔵庫、 冷凍冷蔵 ショーケース、 トンネル フリーザーの メンテナンス

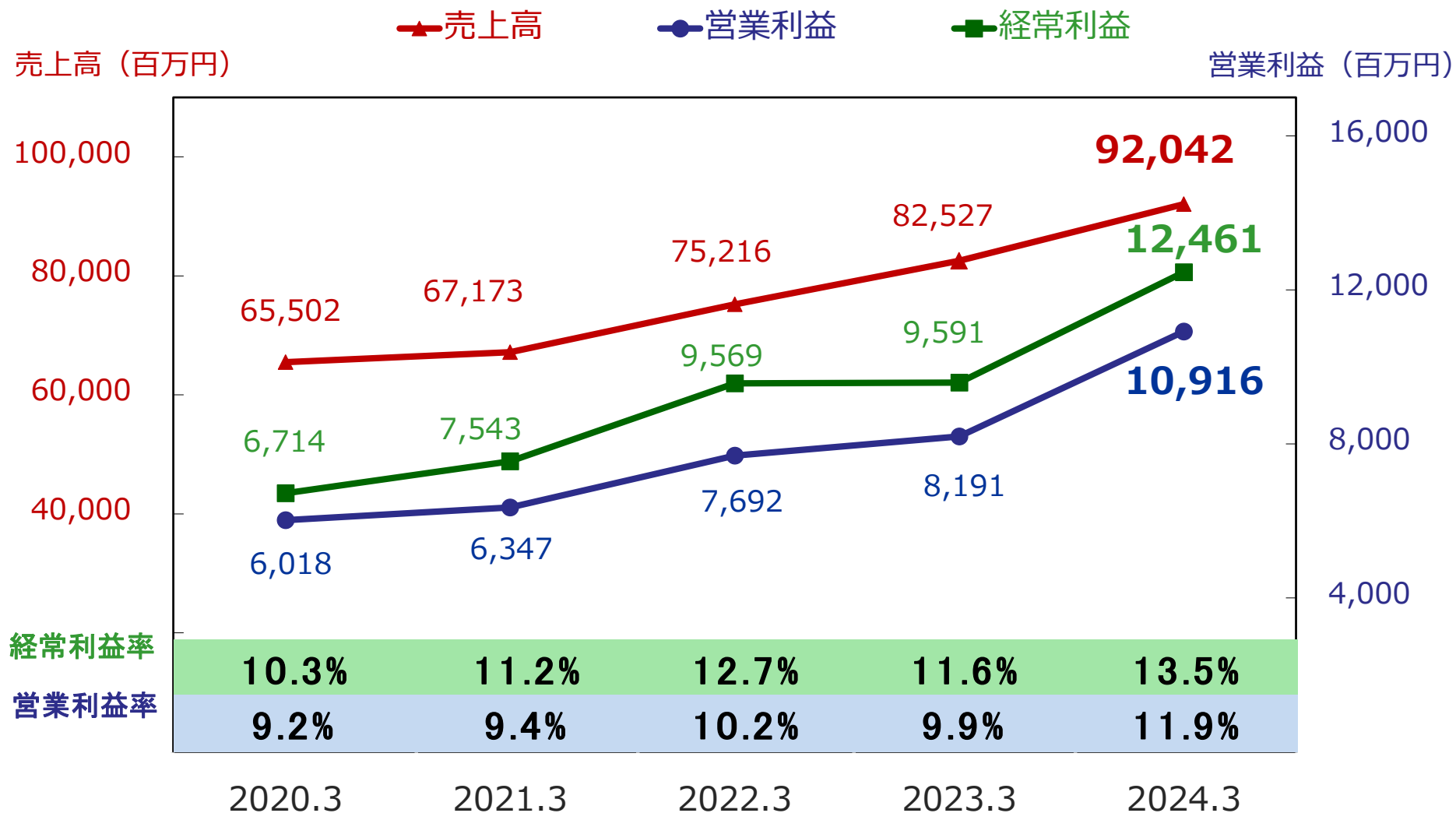
事業の概要

業績推移（連結）



事業の概要

業績推移（単体）



2024年3月期決算のポイント

■ 冷凍冷蔵ショーケース販売

- 流通産業の店舗の改装需要が堅調に推移し、スーパーマーケットやドラッグストア向け売上増加
- コンビニエンスストア向け自然冷媒を採用したショーケースの販売も堅調に推移

■ 大型パネル冷蔵設備販売

- 物流センター・冷蔵倉庫の建設需要が堅調
- クリーンルームの需要が増加

■ 前期より取り組んでいる価格転嫁が浸透し利益率UP

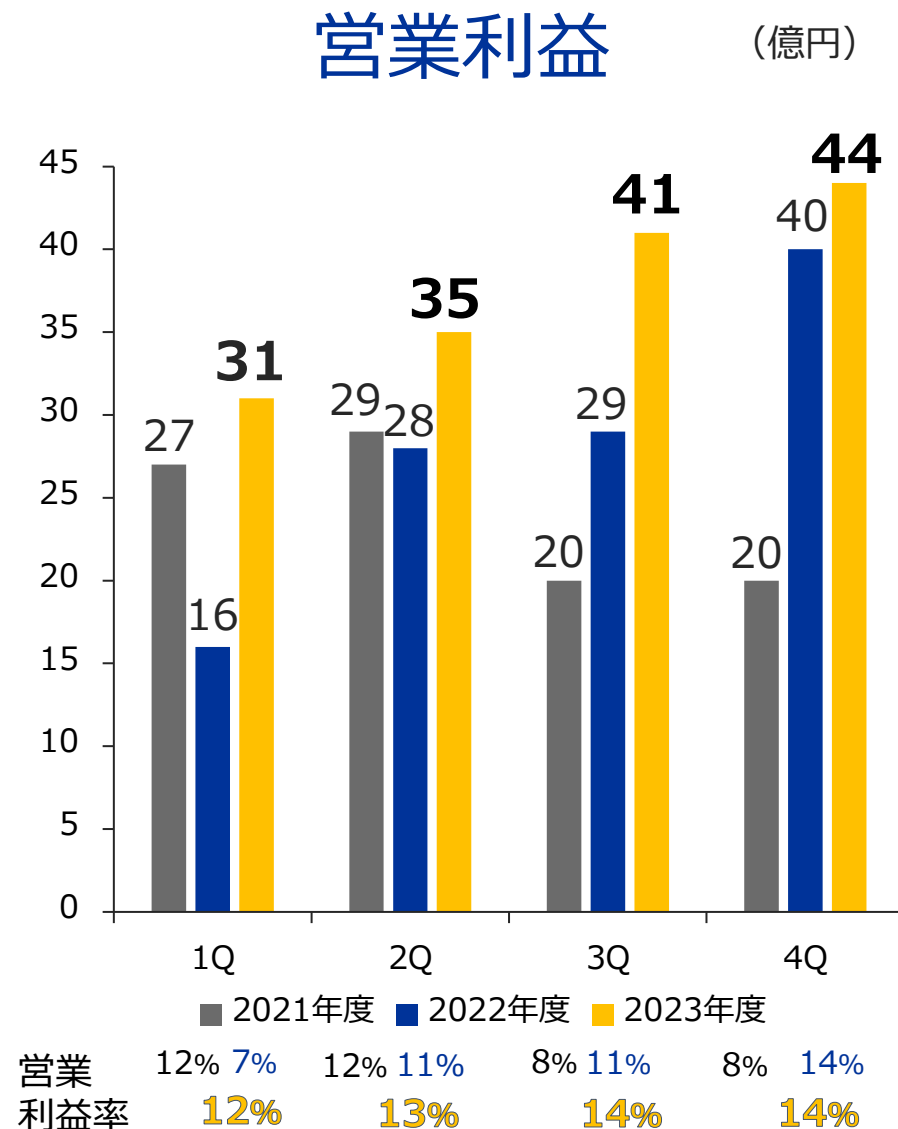
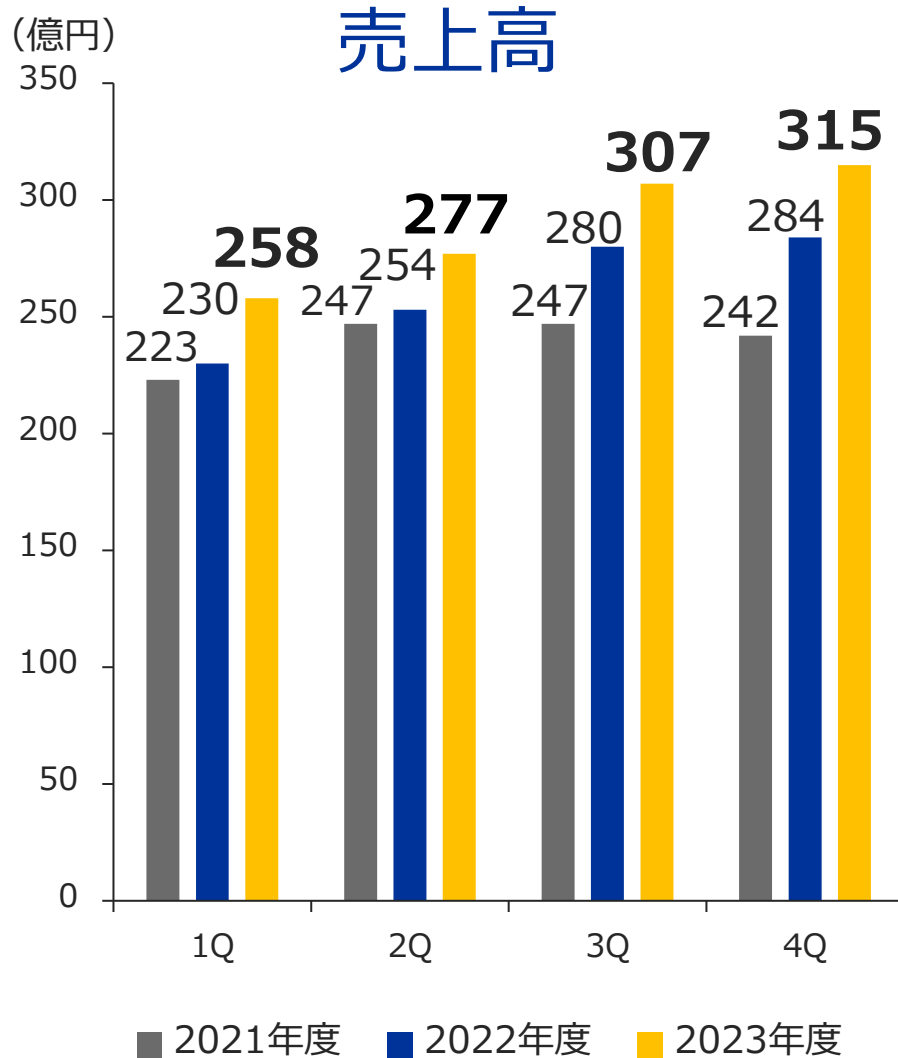
2024年3月期業績概要

連結損益計算書サマリー

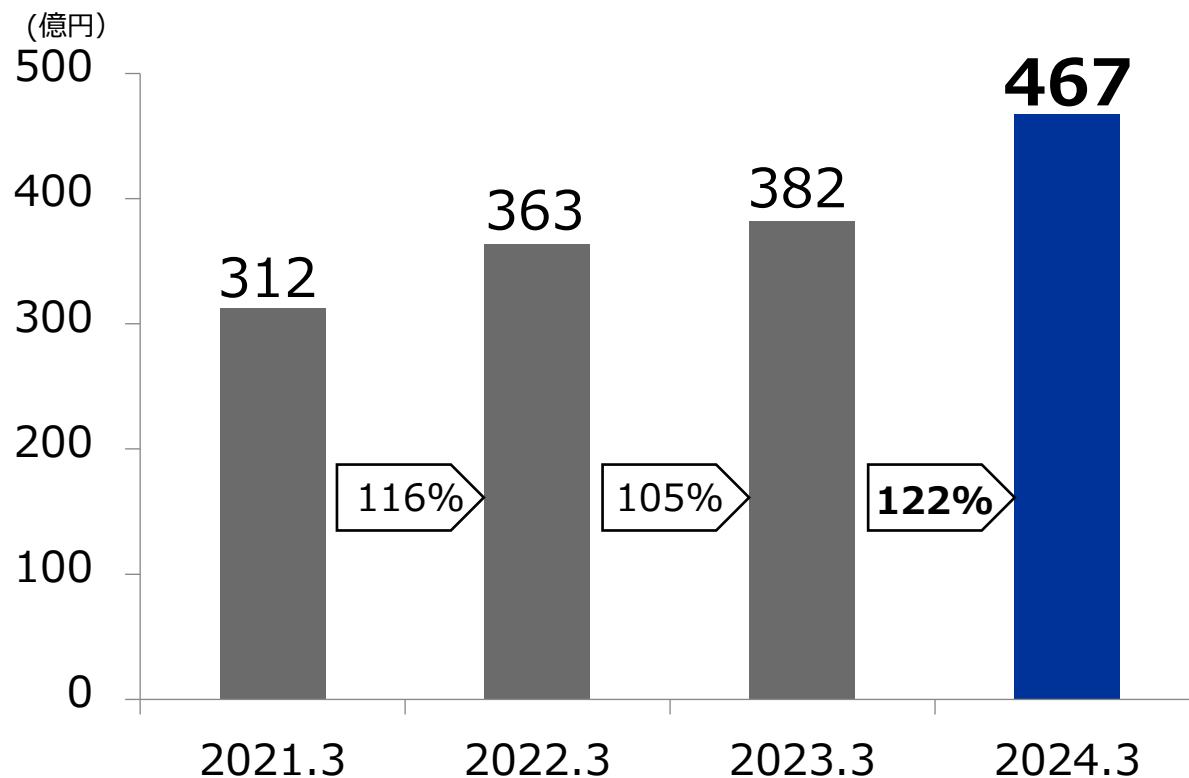
単位：百万円

	2023年3月期		2024年3月期		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	104,996	100.0%	115,835	100.0%	110.3%
売上原価	77,862	74.2%	83,433	72.0%	107.2%
売上総利益	27,133	25.8%	32,402	28.0%	119.4%
販売費及び 一般管理費	15,647	14.9%	17,098	14.8%	109.3%
営業利益	11,485	10.9%	15,303	13.2%	133.2%
経常利益	12,292	11.7%	16,164	14.0%	131.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	8,654	8.2%	12,311	10.6%	142.3%

2024年3月期業績概要（四半期比較）



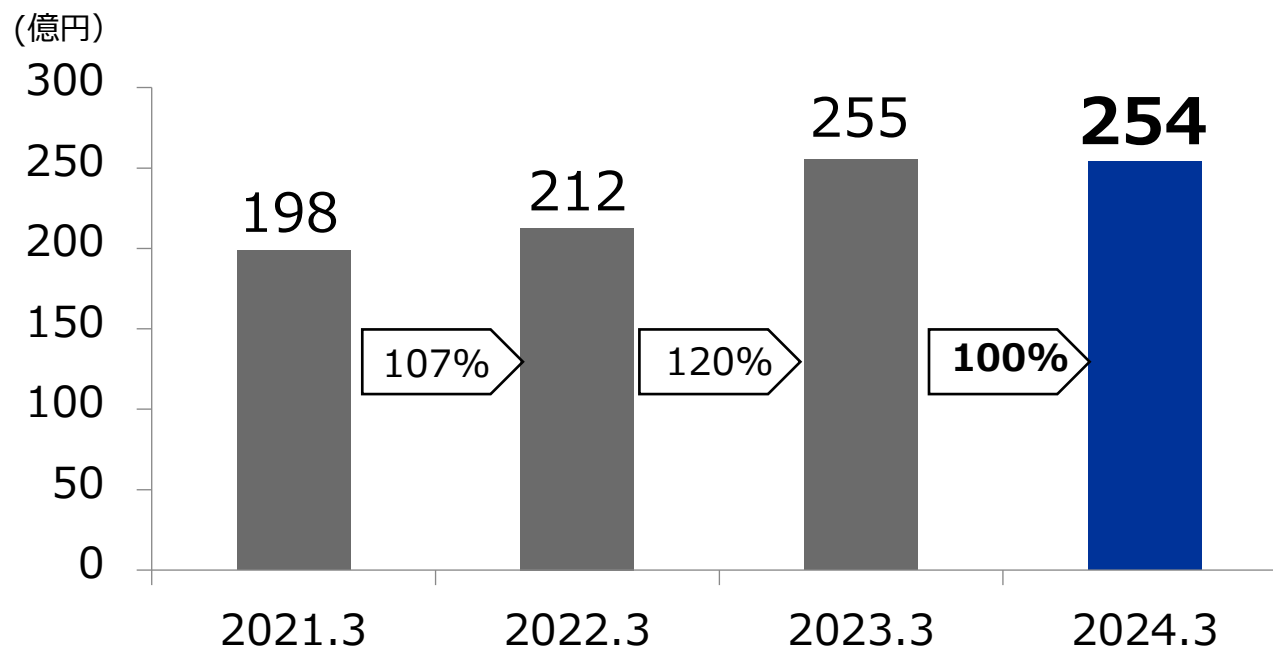
冷凍冷蔵ショーケース販売売上高推移



冷凍冷蔵ショーケース販売 売上増の要因

- ・流通産業の店舗の改装需要が堅調に推移し、スーパーマーケットやドラッグストア向け売上増加
- ・コンビニエンスストア向けの自然冷媒採用のショーケース販売が堅調に推移

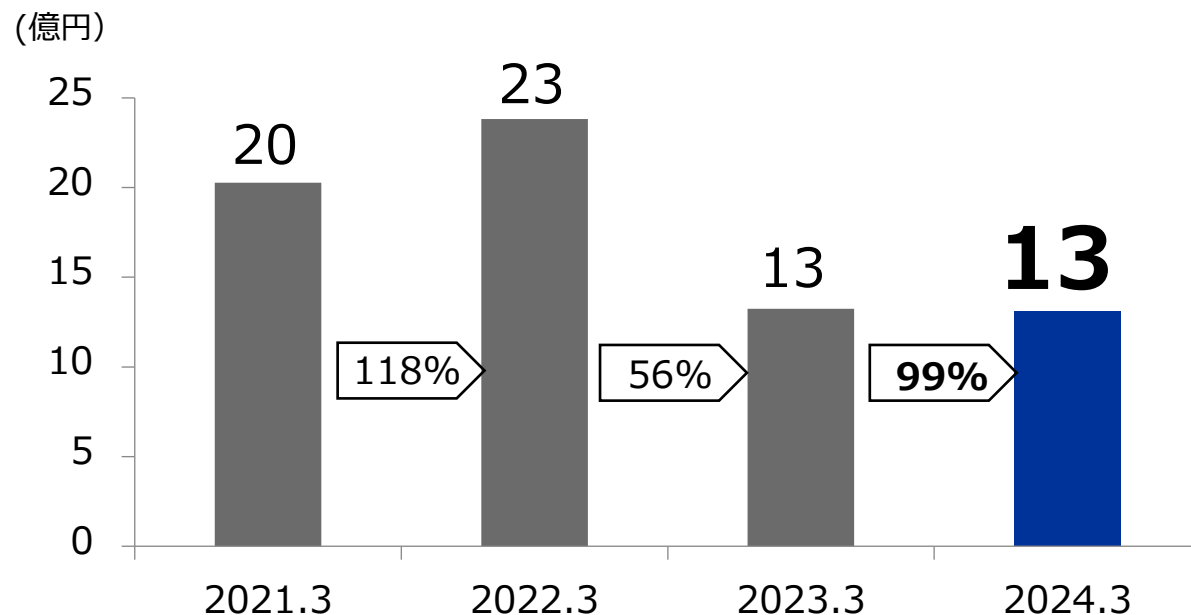
冷凍冷蔵庫販売売上高推移



冷凍冷蔵庫販売 売上微減の要因

- ・ 店舗での食品加工やテイクアウト需要が落ちつき、ブラストチラーや冷凍冷蔵ロッカーなどの高付加価値商品の売上が減少
- ・ 飲食店及び宿泊施設向けの汎用冷凍冷蔵庫の販売は横ばい

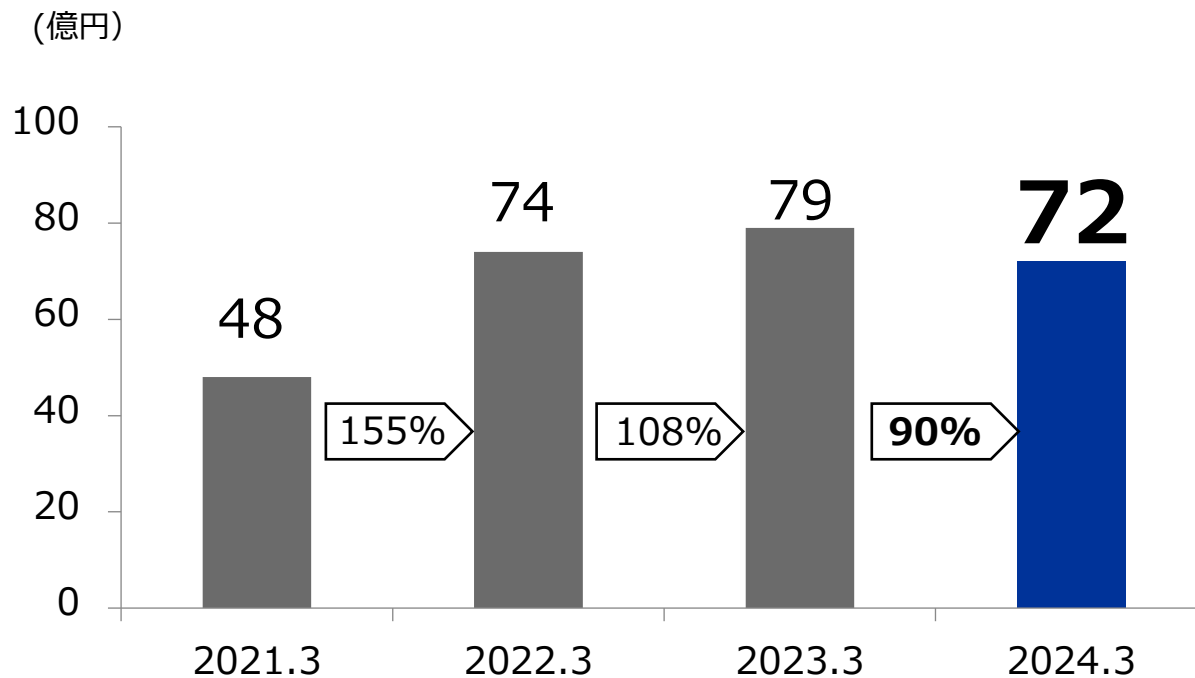
医療・理化学製品販売売上高推移



医療・理化学製品販売 売上減の要因

- ・薬用保冷庫の調剤薬局・ドラッグストア向け販売が増加傾向にある一方、病院・クリニック向けの販売が減少

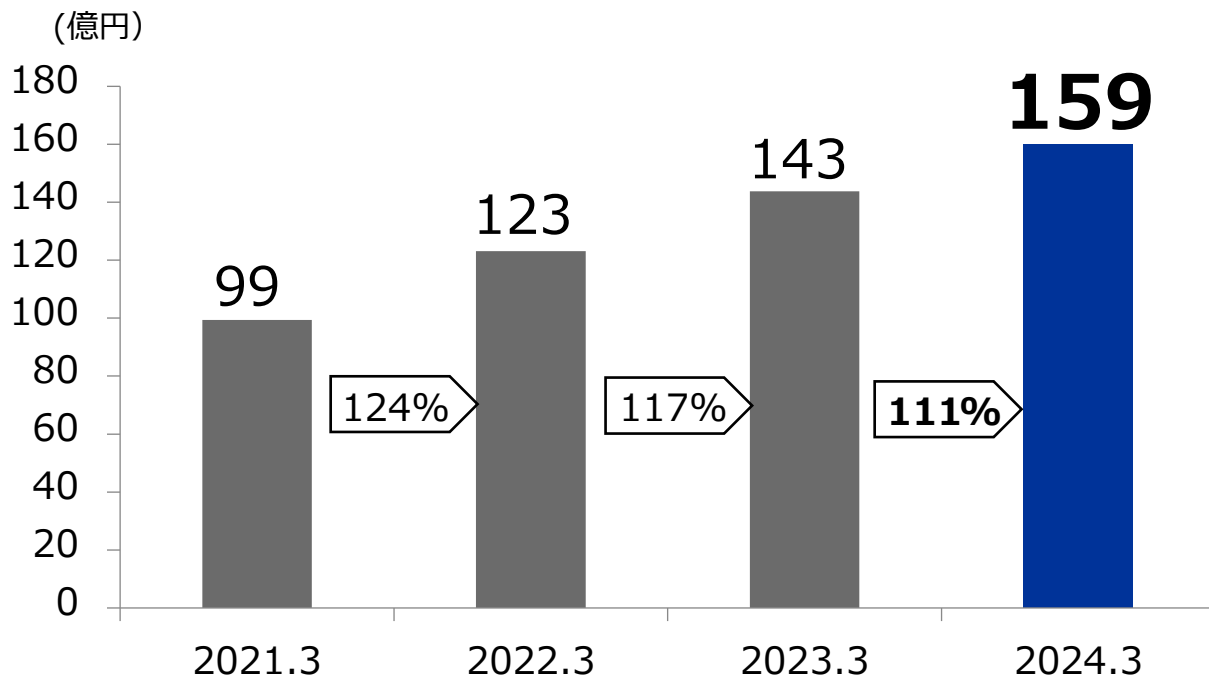
大型食品加工機械販売売上高推移



大型食品加工機械販売 売上減の要因

- ・エネルギーコストや原材料価格の高騰を受け、食品メーカーを中心に設備投資が慎重な傾向が継続

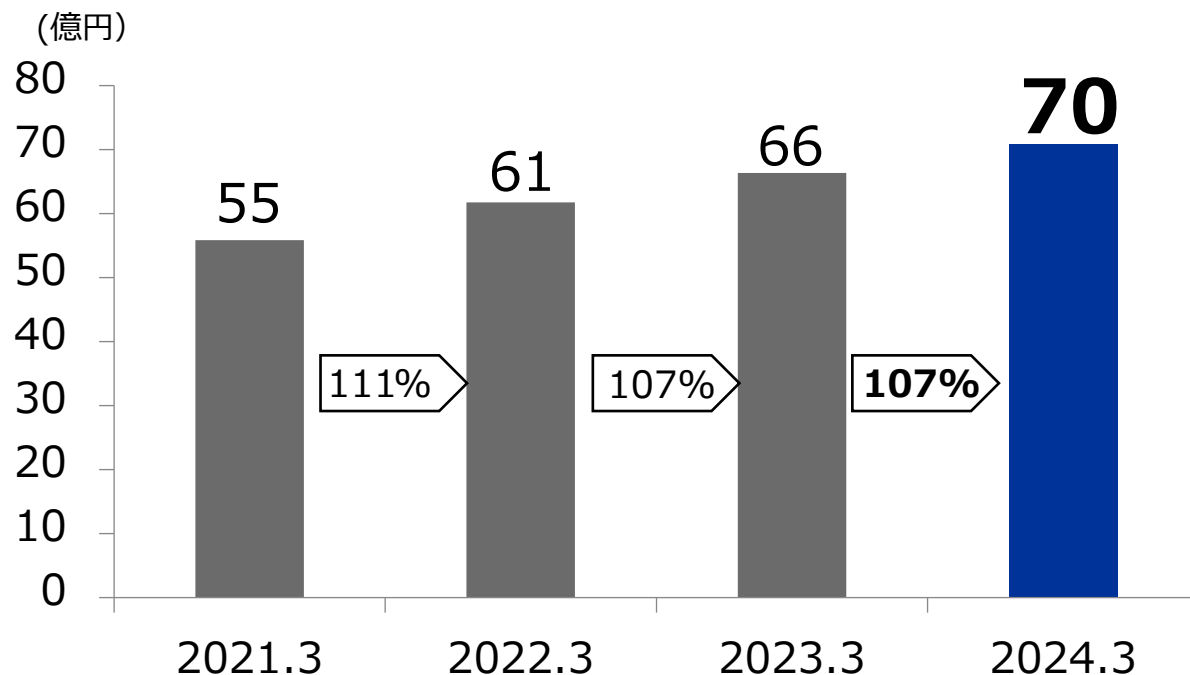
大型パネル冷蔵設備販売売上高推移



大型パネル冷蔵設備販売 売上増の要因

- ・ 物流の2024年問題を背景に低温物流拠点需要が堅調に推移
- ・ 半導体やリチウムイオン電池などのクリーンルームの需要増

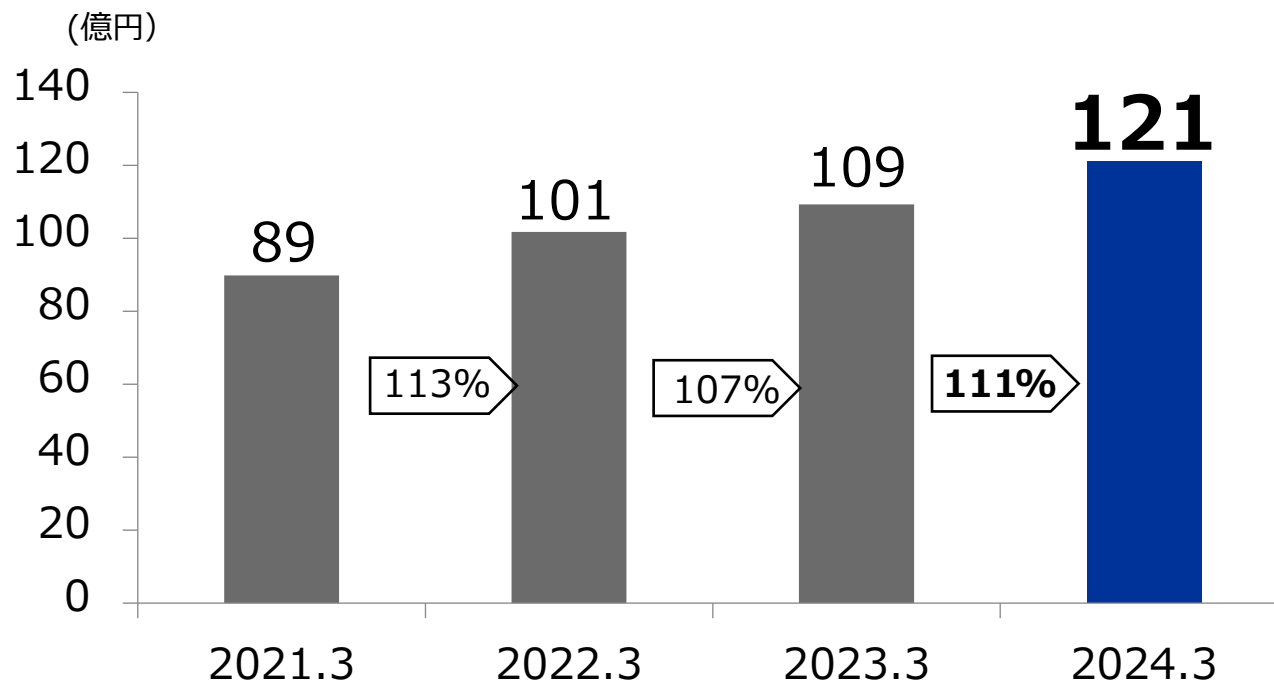
小型パネル冷蔵設備販売売上高推移



小型パネル冷蔵設備販売 売上増の要因

- ・スーパーマーケットやホテル、コンビニエンスストア向けの売上増加

サービス販売売上高推移



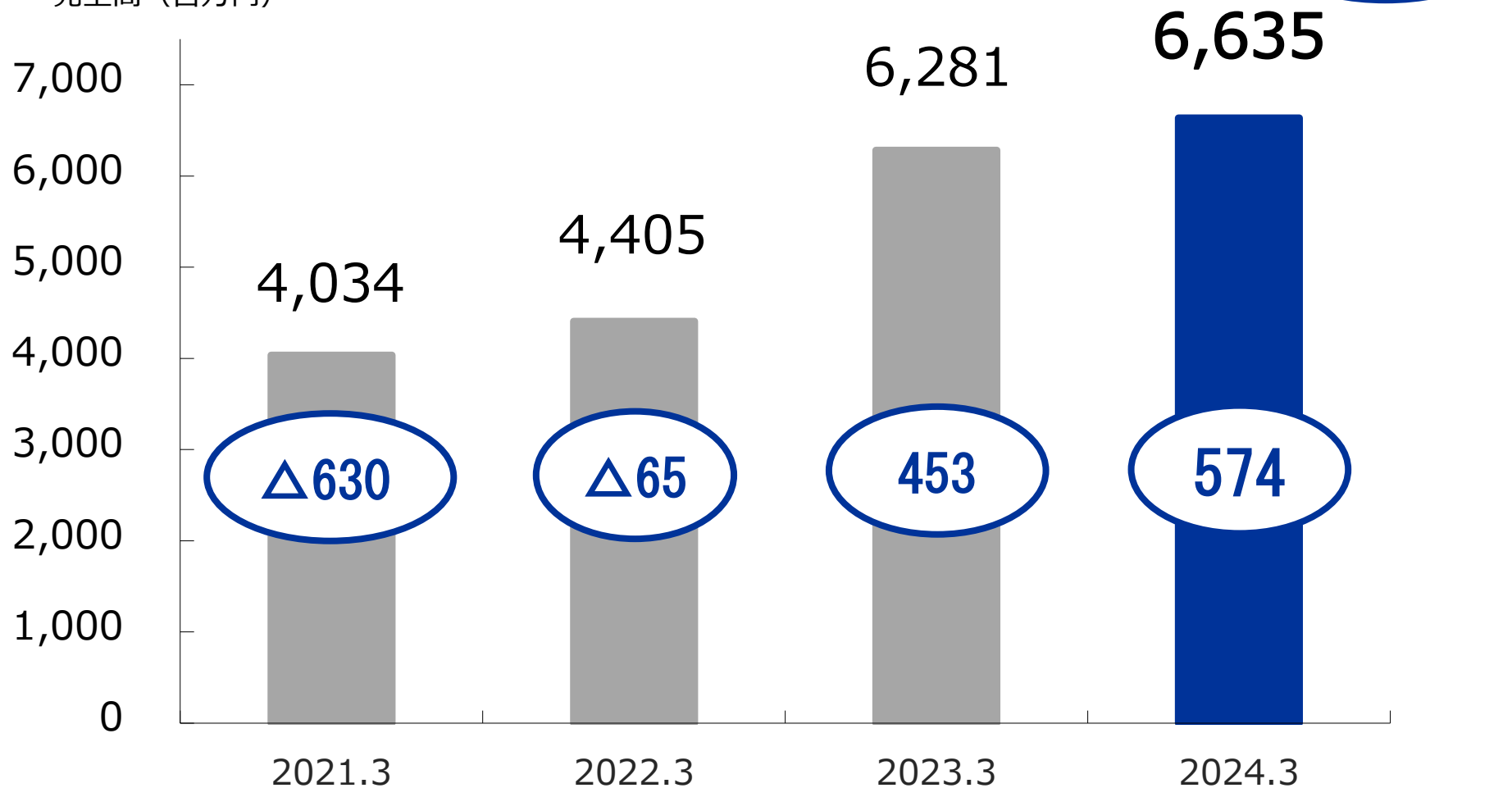
サービス販売 売上増の要因

- ・ スーパーマーケットやコンビニ向けのメンテナンス、保守契約ともに増加
- ・ 業務用冷凍冷蔵庫のメンテナンスの需要回復

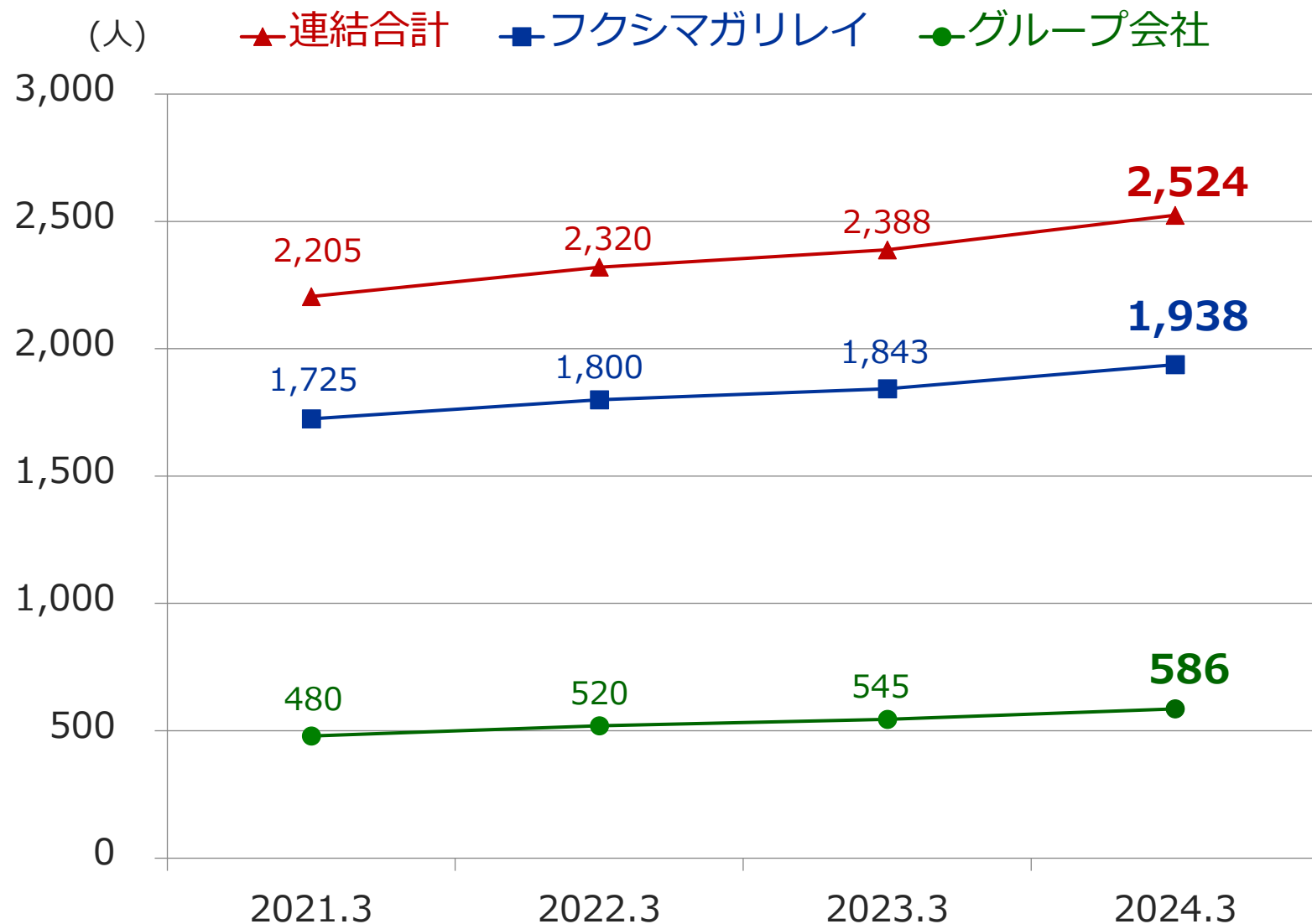
海外事業売上高推移

単純合算による売上推移

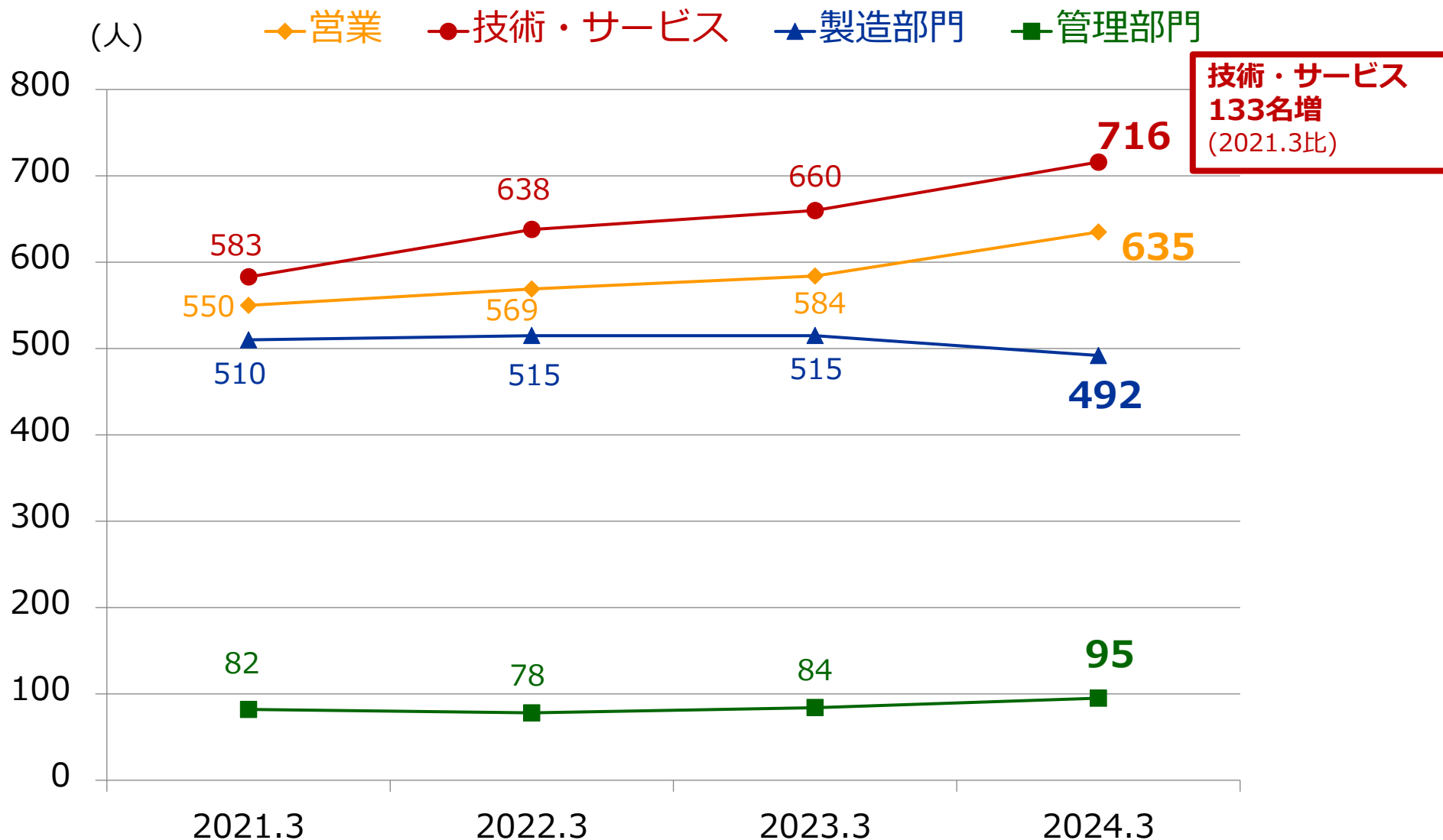
売上高（百万円）



人員推移表（連結）



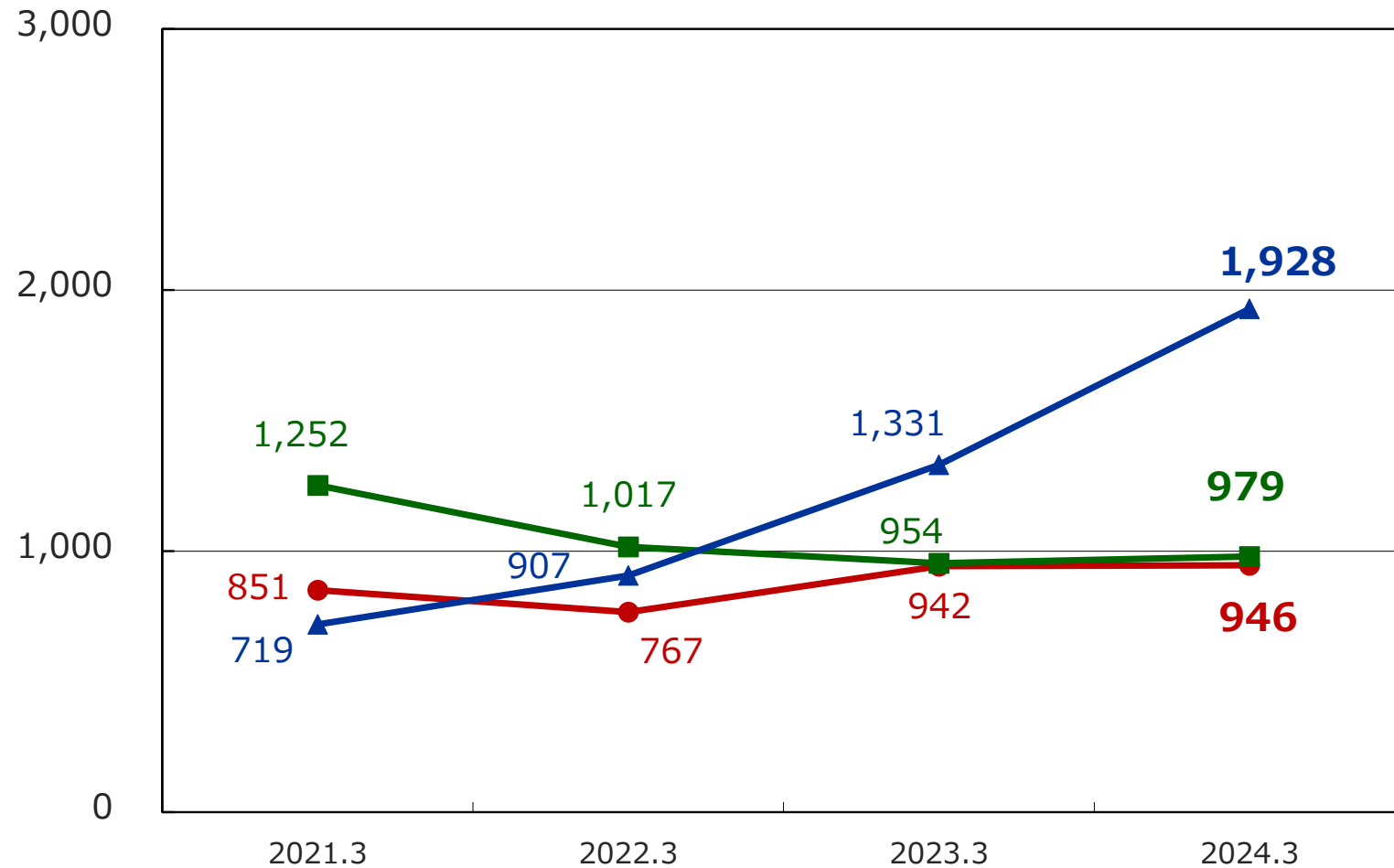
部門別 人員推移表（単体）



設備投資、減価償却および研究開発費推移（単体）

（百万円）

● 研究開発費 ■ 減価償却費 ▲ 設備投資額
（ソフトウェア含む）



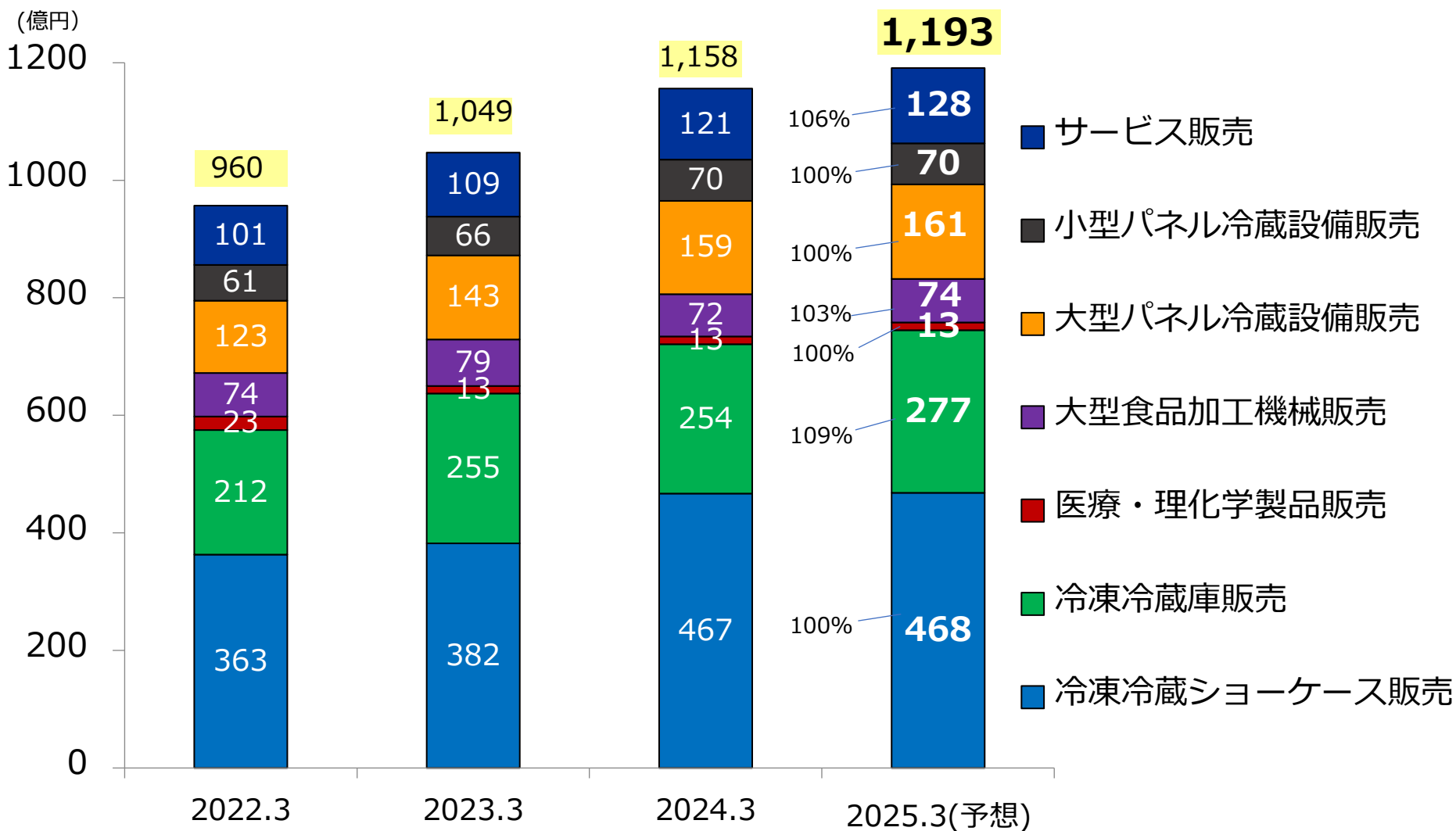
2025年3月期通期業績予想

連結損益計算書サマリー

単位：百万円

	2024年3月期		2025年3月期		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	115,835	100.0%	119,384	100.0%	103.1%
売上原価	83,433	72.0%	86,877	72.8%	104.1%
売上総利益	32,402	28.0%	32,506	27.2%	100.3%
販売費及び 一般管理費	17,099	14.8%	19,315	16.2%	113.0%
営業利益	15,303	13.2%	13,191	11.0%	86.2%
経常利益	16,165	14.0%	13,576	11.4%	84.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,311	10.6%	9,785	8.2%	79.5%

2025年3月期通期業績予想



資本コストとROE

項目	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高(百万円)	86,801	82,451	96,073	104,996	115,835
営業利益(百万円)	9,087	8,054	9,806	11,485	15,303
当期純利益(百万円)	6,226	6,299	8,172	8,654	12,311
ROE(%)	11.13	10.27	11.97	11.41	14.27
株価(期末終値)(円)	3,400	4,360	3,845	4,775	5,900
PBR(倍)	1.29	1.49	1.18	1.32	1.40
PER(倍)	12.05	15.27	10.38	12.18	10.58
1株当たり配当金(円)	48	53	62	73	105
配当性向(%)	15.4	16.9	15.2	16.9	17.1
DOE(%)	1.72	1.73	1.82	1.93	2.44

当社の資本コスト：7.5% と推計（WACC 2023.3月期）

ROEは継続して10%以上を達成しており、資本コストを上回る資本収益性を確保している

引き続き、ROE10%の維持、さらなる向上に向け、期待リターンを上回る成長投資を行い事業成長を目指す

成長投資計画（2023～2025年度）

（単位：百万円）	2023年度	2024年度	2025年度	合計
本社施設	78	40	0	118
主要投資内容	①本社MILAB改修			
事業所拠点	1,115	2,500	600	4,215
主要投資内容	①西日本グループ支社建設(MILAB,コールセンター機能追加) ②関東サービスセンター拡張			
製造拠点(4工場計)	1,246	4,500	3,400	9,146
主要投資内容	①滋賀(水口)工場<ショーケース事業>：第2工場建設【2025年】 ②岡山工場<冷凍冷蔵庫事業>：配送センター建設【2025年】、新工場棟建設 ③滋賀(彦根)工場<パネル事業>：新工場建設 ④タイ工場<冷凍冷蔵庫、ショーケース事業>ライン増設、太陽光発電			
DX投資	57	400	400	857
主要投資内容	①SAP機能拡充（生産ロジスティクス領域）			
人的資本投資	762	2,100	1,800	4,662
主要投資内容	①ガリレイアカデミー研修施設建設 ②各種研修充実 ③社員の年収 2年で10%UP ④施工管理者 90名増員			
合計	3,258	9,540	6,200	18,998

成長投資計画（2023～2025年度）

ショーケース事業の滋賀第二工場を
滋賀県湖南市に建設予定

土 地：20億円
建物設備：86億円

着工予定時期 2024年10月
竣工予定時期 2026年



基本仕様

- ・ショーケース事業の**マザー工場**
(次世代の高付加価値製品を開発・生産する
ショーケース事業の新たな**研究開発拠点**)
- ・外観デザインは**環境保全配慮**を基本
魅せる工場 (近隣学生など積極的に見学受入れ)
- ・**環境配慮型拠点** (CO2フリー工場、ZEB取得) ・新規採用60名計画。**地域雇用創出**

Purpose パーパス

“ガリレイグループのありたい姿”

食といのち
の
未来を拓く

重点課題

SUSTAINABLE
DIGITAL 人材
GLOBAL

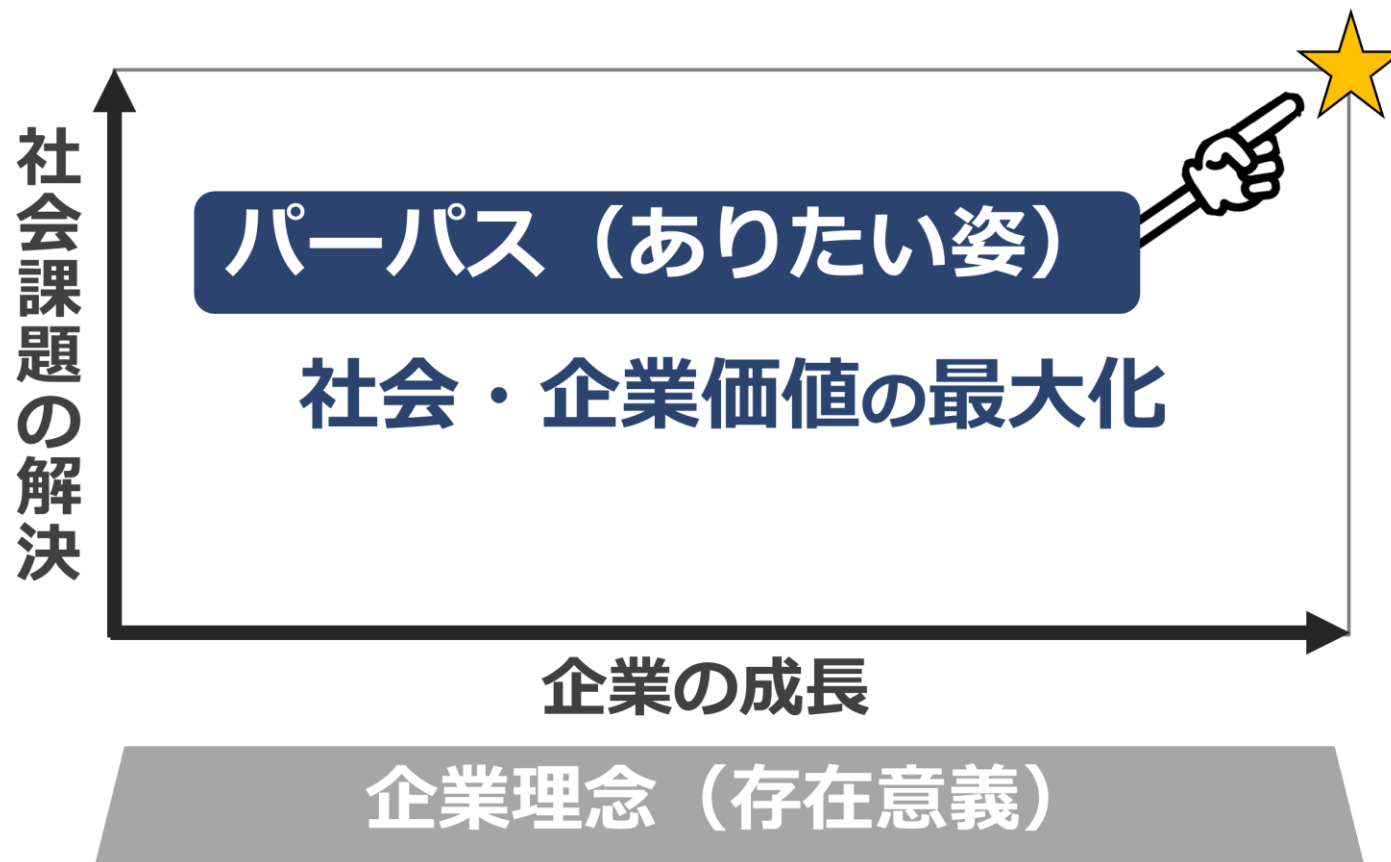
SDG 人

新しい事業領域



S : サステナビリティの取り組み

サステナビリティ経営を主軸に
社会・企業価値の最大化を目指す



S : サステナビリティの取り組み

非財務情報の開示



- 統合報告書2023
- HPサステナビリティページ公開



Dramatic Future 2050

～誰もがワクワクする未来を拓く、ガリレイグループ～

私たちが目指すサステナビリティは、生産からテーブルに並ぶまで
温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること。

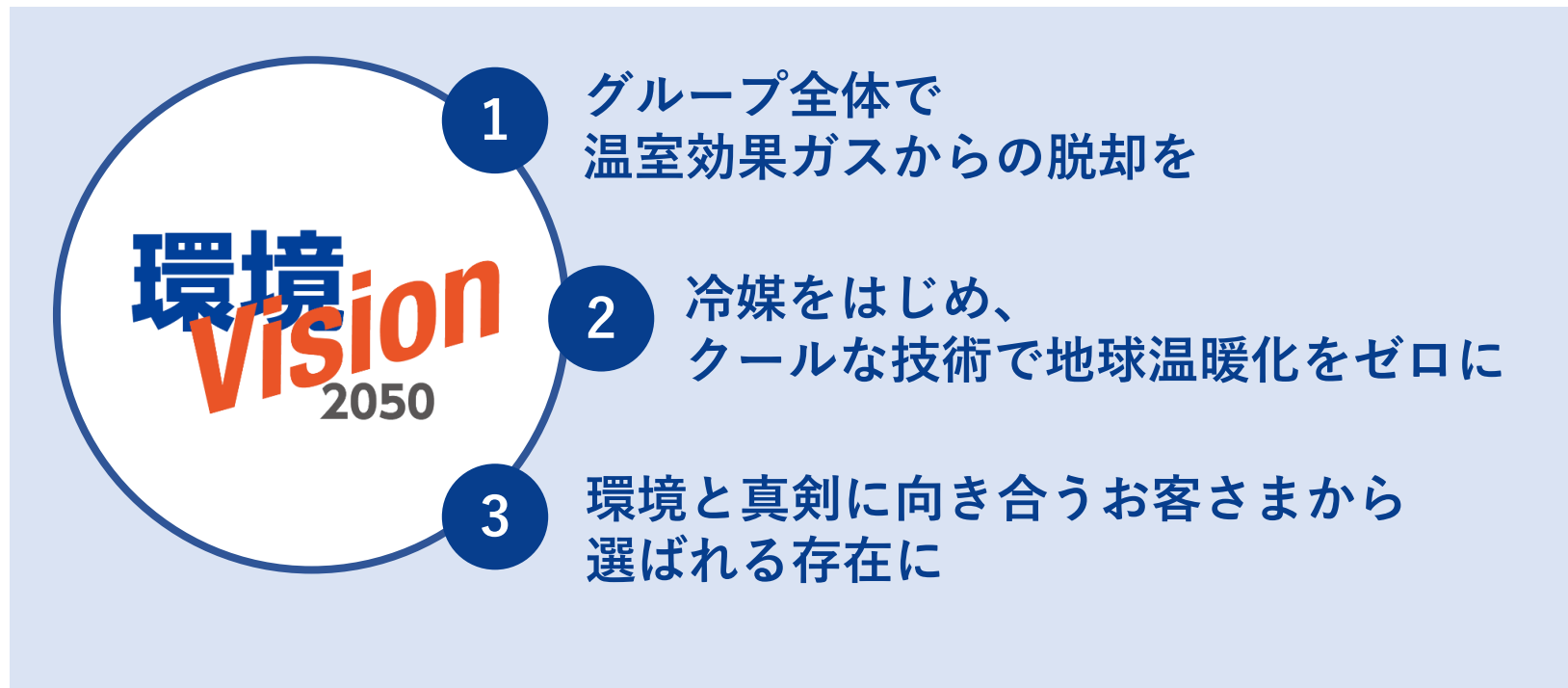
食といのちの未来のために、何があっても挑戦し続けます。

それが必ず、誰もがワクワクする未来を拓くと信じているからです。

S : サステナビリティの取り組み

環境ビジョン2050

持続可能な地球環境を次世代に引き渡すことを目的に、
2050年までの「**カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現**」に向け、
「**環境ビジョン2050**」を掲げます。



S : サステナビリティの取り組み

環境アクション2030

ガリレイグループが目指す4つの「環境アクション2030」



1. グリーン冷媒
への転換



2. 冷媒ガス
漏洩防止



3. 環境性能の高い
製品を開発・提供



4. CO2排出量削減



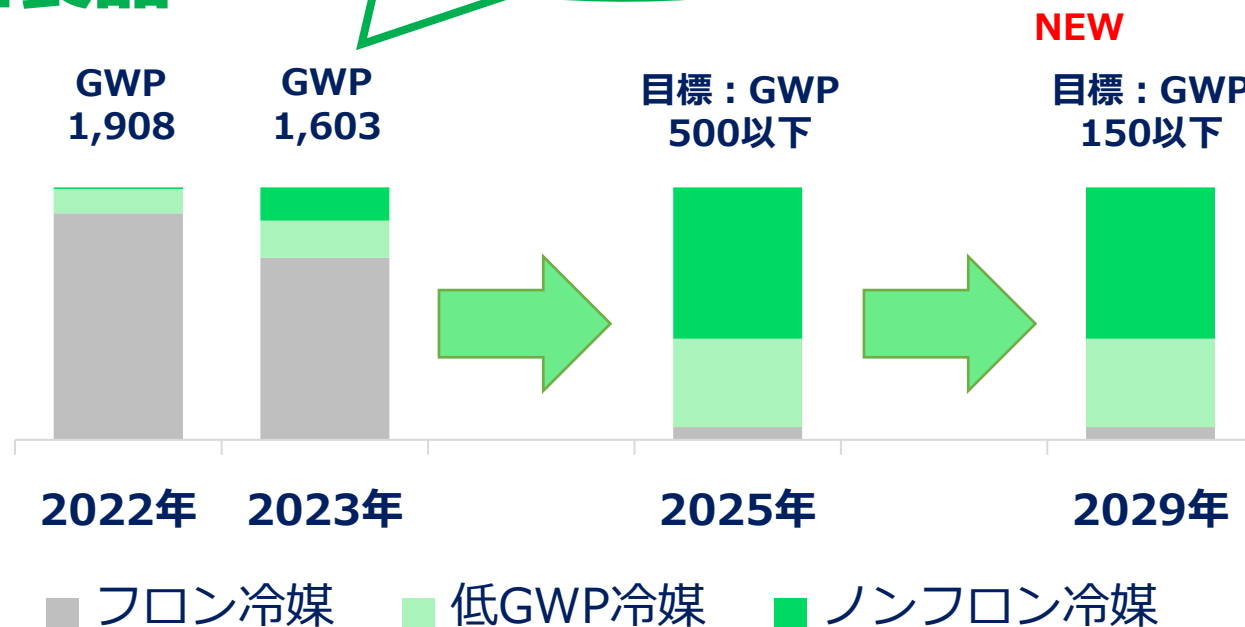
S : サステナビリティの取り組み



グリーン冷媒への転換

モデルチェンジにより
ノンフロン冷媒機種、
低GWP冷媒機種へ
切替進む

冷凍機内蔵型製品

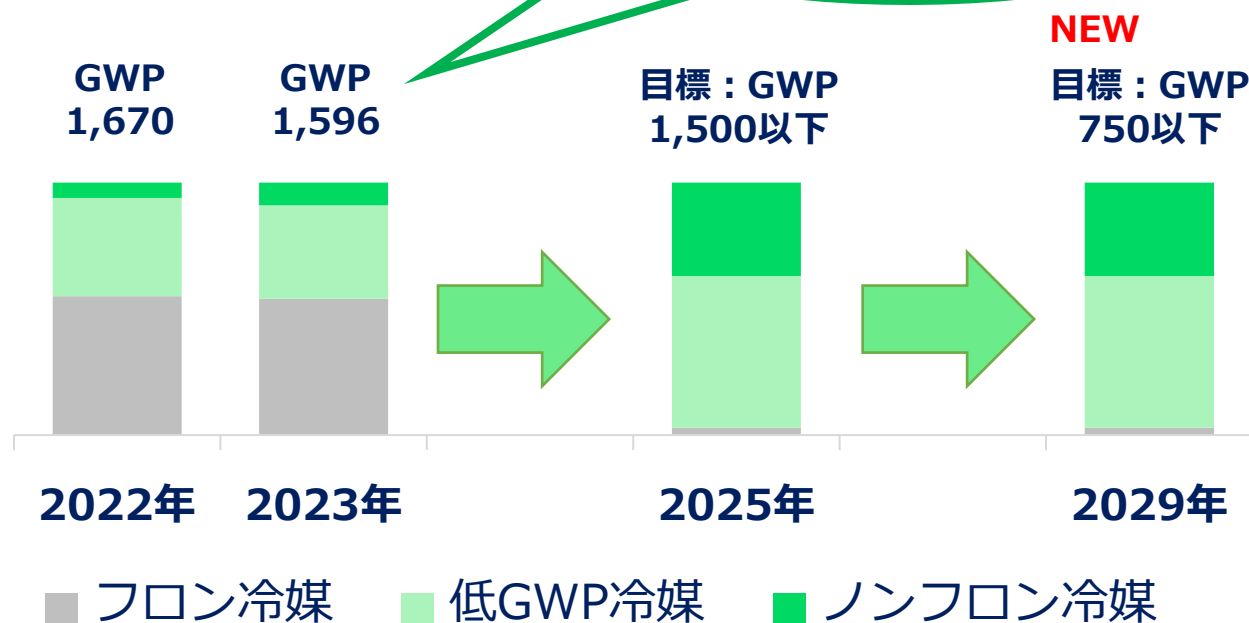
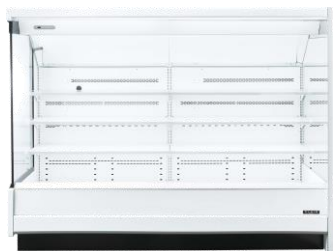


S : サステナビリティの取り組み



グリーン冷媒への転換

冷凍機別置型製品及び工事



S : サステナビリティの取り組み



グリーン冷媒への転換

冷蔵庫・製氷機 ノンフロン化

業界初 ノンフロン冷媒R1234yf採用【GWP : 1】



S : サステナビリティの取り組み



冷媒ガス漏洩防止

2025年度製品・施工物件より冷媒漏洩による地球温暖化ゼロを目指します。
また、プレメンテナンスの拡充により、冷媒漏れ10年保証を目指します。

2020年

冷媒漏洩量
50,000t

2035年

冷媒漏洩量
ゼロ

2035年までに
冷媒漏洩量ゼロを目指す

2020年における冷媒漏洩量50,000t(10年以内の製品・施工物件:CO₂換算実績)に対して、2035年には10年以内の製品・施工物件の冷媒漏洩量ゼロを目指します。

※10年以内の製品・施工物件の冷媒漏洩量(CO₂換算)

冷凍機内蔵製品

2025年度製造製品から
冷媒漏れ10年保証



冷凍機別置製品及び工事

保守契約による
冷媒漏れ10年保証



具体的な取り組み

製造時の対策

- 溶接レス又は溶接点数の削減
- 検査新技術の導入
- 材料劣化防止対策の拡充

施工時の対策

- 工事のDX活用

保守時の対策

- DX活用による予防保全

「直す」から『止めない』に
スタイルチェンジ

S : サステナビリティの取り組み



冷媒ガス漏洩防止

業界初 ノンフロン対象機器にて

「冷媒ガス漏れ10年保証」 2024年4月先行開始



S : サステナビリティの取り組み



CO₂排出量削減

グループ全体で2030年までにCO₂排出量50%削減(2013年度比)を目指します。

- 改善活動による生産性向上
- 再生可能エネルギーの積極的な導入



岡山第二工場

- グリーンエネルギーの導入検討
- 再エネ100%宣言ReAction(JCLP) 参画

再エネ100宣言
RE Action

- 省エネルギー活動の推進
- HV車、EV車の積極的な導入



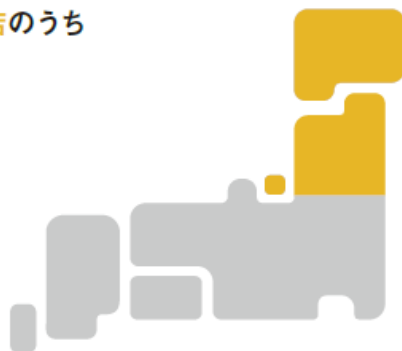
お客様との協働により、エネマネ事業、ZEB化の推進を通して、バリューチェーン全体のCO₂排出量削減に取り組めます。

全国のスーパーマーケット22,500店のうち
約30%が当社製ショーケースを使用

年間223万トンのCO₂排出量に相当

46%削減 に向かって取り組みます

※日本政府のCO₂排出量削減目標に
歩調を合わせて取り組みを推進



Bems-you

建物のエネルギーマネジメントシステム

Galilei Air-tec System
ガリレイエアテックシステム

食品スーパーの店内環境最適化

ZEB
PLANNER
ZEB2022P-00004

S : サステナビリティの取り組み



CO₂排出量削減

ガリレイグループCO₂排出量

(t-CO₂)

会社名	2013年度	2021年度	2022年度	2023年度	2030年度 目標値
岡山工場	3,823	1,791	623	595	464
滋賀水口工場	2,921	1,891	1,856	1,673	1,460
フクシマ各営業所	3,470	5,400	4,902	5,019	2,559
GPC	2,001	1,487	1,304	1,196	1,063
タカハシ	655	395	368	397	210
ショウケン	100	108	103	101	60
タイ工場	38	184	258	208	1,110
北京工場	846	—	—	—	—
合計	13,860	11,263	9,568	9,189	6,930
2013年度比		18.7%減	31.0%減	33.7%減	50.0%減

D : デジタルの取り組み



決算の早期化

ガリレイグループ事業拡大への対応

決算早期化PJ発足

ホールディングス化へ



基幹システム(販売管理)の機能拡張



業務効率向上・ガバナンス強化



製品配送業務の自動化



メンテナンス情報とIoTの融合

G : グローバルの取り組み

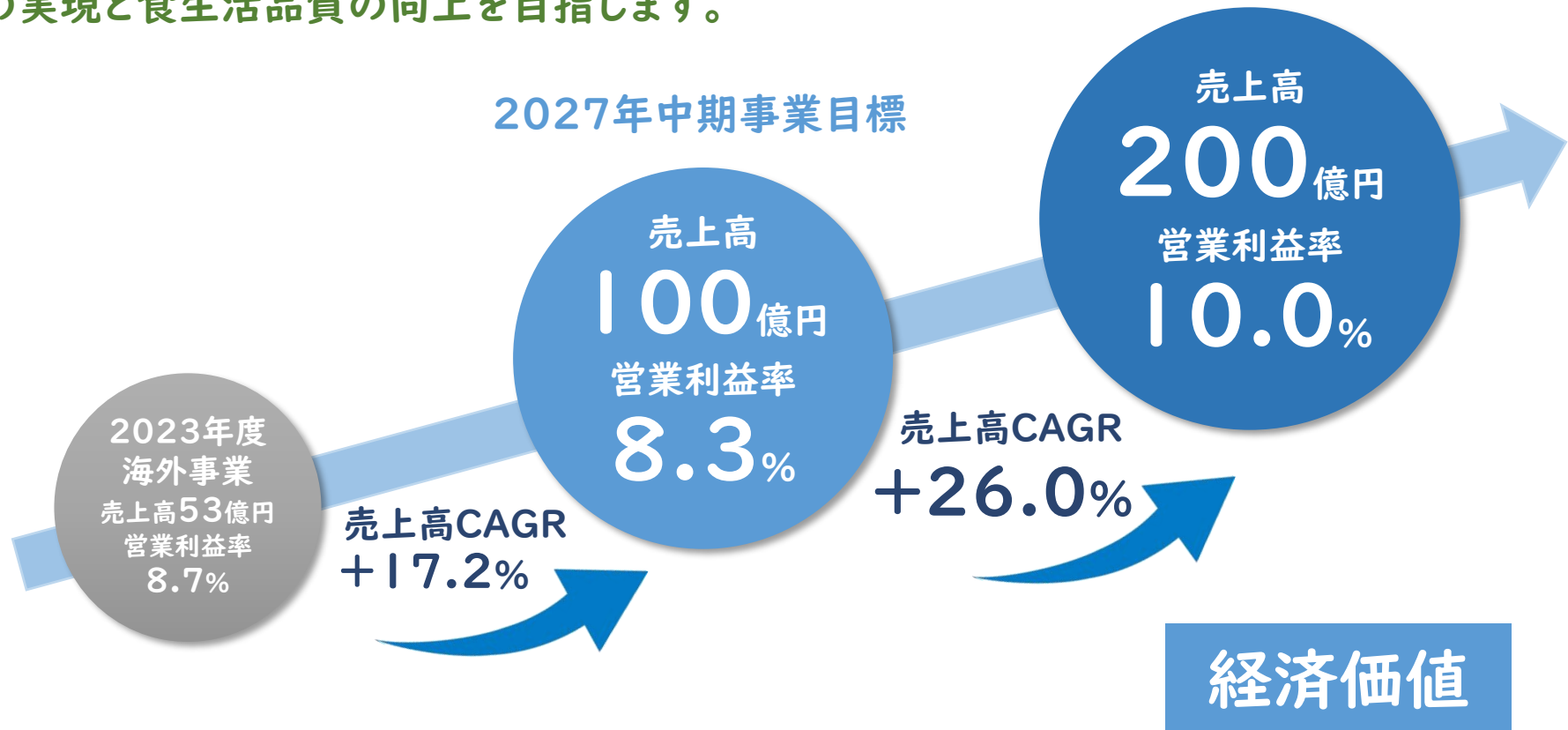
GALILEI Global Vision 2030策定



社会価値

「冷やす」技術でアジアの食のインフラを川上から川下まで支えることで、持続可能な社会の実現と食生活品質の向上を目指します。

GALILEI Global Vision 2030 2030年のありたい姿



GALILEI Global Vision 2030 全体像

策定の前提

外部環境変化

カーボンニュートラルへの動きが加速

衛生管理向上、食のおいしさへの追求

コールドチェーンの進展による冷凍需要増

当社独自の強み

大型凍結機国内シェアトップ

省エネ・環境・衛生管理関連技術力

食品工場、低温倉庫のエンジニアリング力

企業理念（幸せ四則）

「食といのちの未来を拓く」に向かって新たな価値を提供し、持続可能な社会への貢献とグループの企業価値向上を実現する

重点戦略テーマ

成長戦略

強化地域/事業

経営基盤強化

めざす価値創造

経済価値

社会価値

成長戦略

①持続可能な豊かな社会の実現に
貢献（冷蔵庫・ショーケース事業）

- ・環境対応製品（省エネ・ノンフロン）開発強化
- ・戦略商品、ショーケース現地生産
- ・メディカル・ヘルスケア製品販売強化

②顧客とつながるソリューション事業
の推進（冷蔵庫・ショーケース事業）

- ・冷却調理などソフト提案
- ・ユーザーへの直販体制強化
- ・各国サービス網の強化

③グループエンジニアリングの推進
（エンジニアリング事業）

- ・断熱パネルの内製化
- ・トンネルフリーザー、NOBRAC現地生産
- ・食品機械メーカーとの連携構築

成長戦略を支える重点テーマ

強化地域/事業

④東南アジア（重点国：タイ、
ベトナム、インドネシア）

⑤インド等、第三国進出

⑥アジア凍結分野でリーディ
ングカンパニーへの挑戦

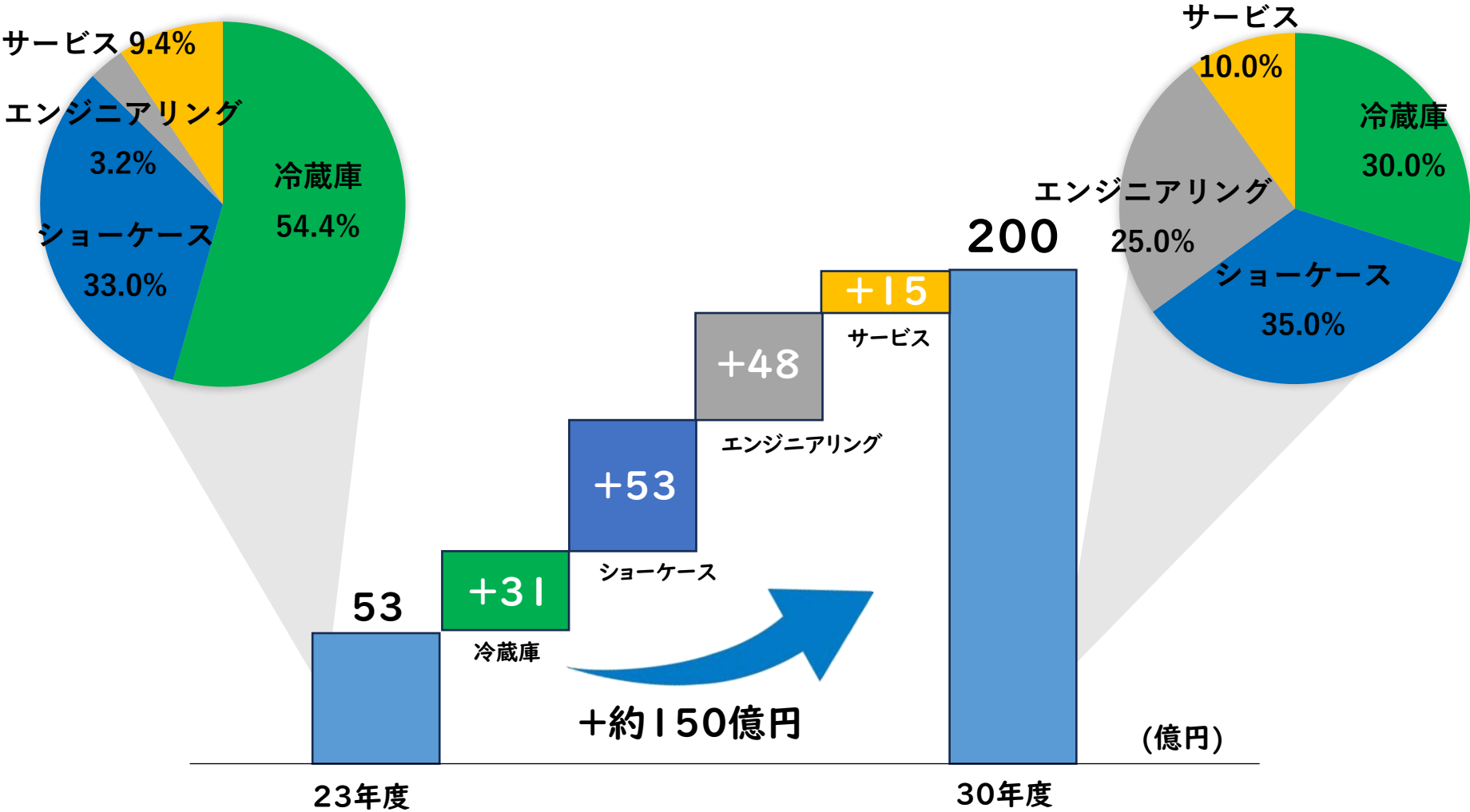
経営基盤強化

⑦マーケティングの強化

⑧技術開発・設計力の強化

⑨ダイバーシティマネジメント
深化による人材力強化

GALILEI Global Vision 2030 成長戦略による事業拡大の構図



高付加価値製品の開発製造

- ・ 研究開発、設備投資

顧客とつながる

ソリューション事業の推進

- ・ 海外拠点増強
- ・ 海外MILAB設置
- ・ 主要拠点ショールーム設置

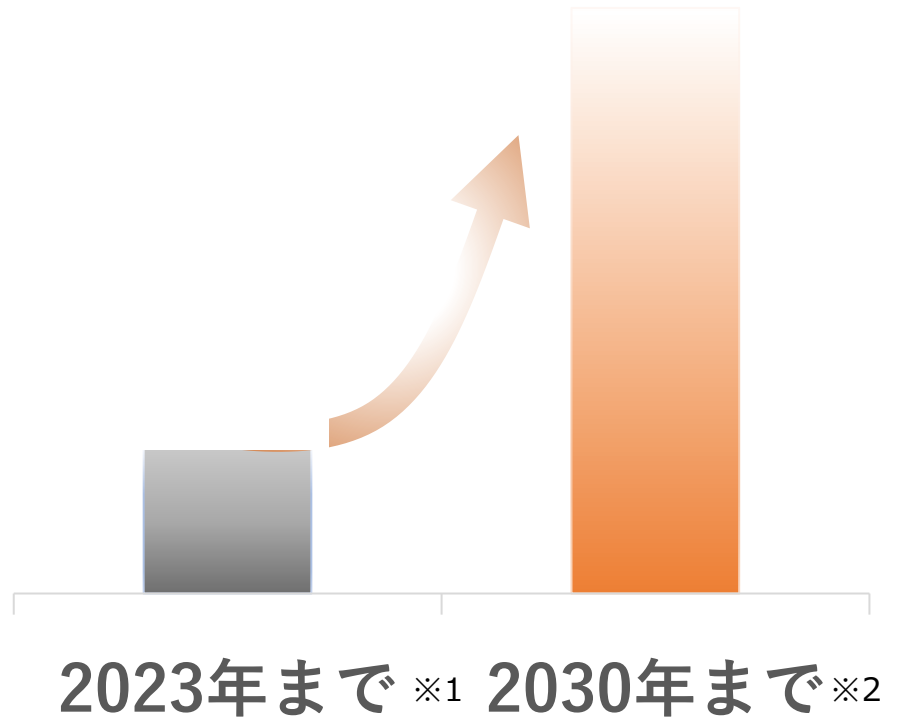
さらなる事業拡大

- ・ M&Aの推進

人材育成

- ・ 海外アカデミー設置
- ・ 人的投資

投資イメージ



※1 2017年～2023年までの7年間

※2 2024年～2030年までの7年間

海外展開を加速させる



**テストキッチン・MILAB設置
フーズコンサルタント室立上げ**

組織を越えヨコ串しで展開



**ガリレイアカデミー設置
ローカル技術者の育成強化**

人：ガリレイアカデミー

2022年5月開校

2024年5月時点
卒業生（10期生まで）
合計111名

**2026年 ガリレイアカデミー新棟
“グローアップセンター” 設立**



人：人材投資

2023年度
賃上げ
5%UP

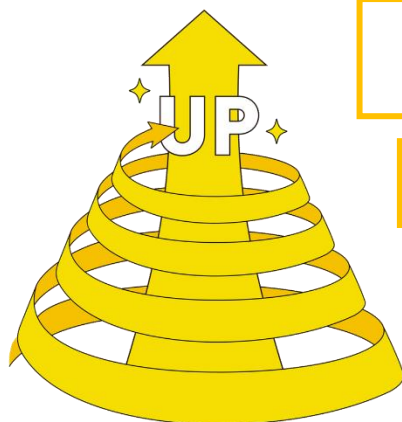
賃上げ目的

生産性=タイパの向上

時間あたり売上総利益
過去2年で2倍以上
残業時間 前年比84%

ポイント

価値創造
スパイラル

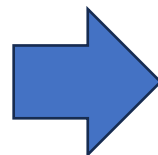


更なる
給料UP

利益創出

タイパ向上

給料UP



2024年度
賃上げ
6%UP

持株会社体制への移行によりM&Aを加速

持株会社体制移行の目的

- ① グループ各社を横並びに!…各社の自立性向上へ
- ② M&Aを加速!…グループの更なる成長へ

2024年2月 日本洗淨機のM&Aを発表

※食器洗淨機、自動調理機などの製造・販売メーカー
省エネ・節水・省力化に優れた技術力あり

M&Aの方向性

シナジーを出しながらお互いが成長していく

GALILEI

Be cool, Be alive.

フクシマガリレイ株式会社 経営企画部経営企画課

TEL : 06-6477-2011

当資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは、掲載時点で入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。実際の業績はリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。